

# 市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

令和4年6月

## 那須塩原市議会定例会議

### 【質 問 者】

#### 【市政一般質問 1日目】

- |   |        |          |    |      |
|---|--------|----------|----|------|
| 1 | 10:00～ | 議席番号 10番 | 山形 | 紀弘議員 |
| 2 | 11:15～ | 議席番号 14番 | 佐藤 | 一則議員 |
| 3 | 13:15～ | 議席番号 26番 | 金子 | 哲也議員 |
| 4 | 14:30～ | 議席番号 7番  | 森本 | 彰伸議員 |

#### 【市政一般質問 2日目】

- |   |        |          |    |       |
|---|--------|----------|----|-------|
| 5 | 10:00～ | 議席番号 4番  | 鈴木 | 秀信議員  |
| 6 | 11:15～ | 議席番号 24番 | 山本 | はるひ議員 |
| 7 | 13:15～ | 議席番号 12番 | 中里 | 康寛議員  |
| 8 | 14:30～ | 議席番号 6番  | 田村 | 正宏議員  |

#### 【市政一般質問 3日目】

- |    |        |          |    |      |
|----|--------|----------|----|------|
| 9  | 10:00～ | 議席番号 13番 | 齊藤 | 誠之議員 |
| 10 | 11:15～ | 議席番号 8番  | 益子 | 丈弘議員 |
| 11 | 13:15～ | 議席番号 3番  | 林  | 美幸議員 |
| 12 | 14:30～ | 議席番号 15番 | 星  | 宏子議員 |

#### 【市政一般質問 4日目】

- |    |        |          |     |      |
|----|--------|----------|-----|------|
| 13 | 10:00～ | 議席番号 9番  | 小島  | 耕一議員 |
| 14 | 11:15～ | 議席番号 11番 | 星野  | 健二議員 |
| 15 | 13:15～ | 議席番号 2番  | 三本木 | 直人議員 |
| 16 | 14:30～ | 議席番号 19番 | 鈴木  | 伸彦議員 |

# 市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

令和4年6月

## 那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

### 【市政一般質問 5日目】

- |    |        |      |    |    |      |
|----|--------|------|----|----|------|
| 17 | 10:00～ | 議席番号 | 5番 | 室井 | 孝幸議員 |
| 18 | 11:15～ | 議席番号 | 1番 | 堤  | 正明議員 |

受付番号	令和 4年 5月16日
第4号	午前 5時 58分受付 午後

令和 4年 5 月 16日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 10 番 山形紀弘

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1, 那須塩原ブランドについて	<p>那須塩原市農観商工連携推進協議会では市内産業の活性化に向けた取組の一環として、那須塩原ブランドの認定を平成22年から開始して12年が経過しました。認定品は『那須塩原らしさ』『独自性』『信頼性』『安定性』などの基準に基づき認定した、市内で生産・加工製造された農林水産品や特産品で現在は25品目が認定されております。これまでの事業の検証や課題を抽出して、ブラッシュアップすることが那須塩原ブランドの更なる普及と本市のブランド力アップに繋がることから以下の点についてお伺い致します。</p> <p>(1) 取組開始から事業の検証や課題についてお伺い致します。</p> <p>(2) 那須塩原ブランドの周知と普及は図られたのかお伺い致します。</p> <p>(3) 那須塩原ブランドに認定事業者にどのような効果が得られたのかお伺い致します。</p> <p>(4) 那須塩原ブランドの今後の取組についてお伺い致します。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
<p>2. 本市の公共施設に係る土地 借地について</p>	<p>公共施設に係る土地借地は、借地契約の内容が十分に検証され れないまま、長期化や固定化しているといった問題が全国の行政 監査において指摘されております。本市においては平成17年度 から行財政改革を開始して、平成29年度に第2次那須塩原市行 財政改革推進計画を策定して一定の成果を挙げてきました。しか しながら、土地借地については見直しや方針が示されておらず、 今後大きな財政負担と考えられることから以下の点についてお伺 い致します。</p> <p>(1) 本市の公共施設のうち小中学校、公民館、都市公園の土地 借地についてお伺い致します。</p> <p>① 土地借地件数と年間借地料</p> <p>② 土地借地料の算定基準</p> <p>③ 土地借地の返還条件と管理</p> <p>④ 土地借地の契約期間と契約条件</p> <p>(2) 土地借地についての今後の方針をお伺い致します。</p>

受付番号	令和4年 5月 16日
第3号	午前 2時 15分受付 午後

令和 4年 5月16日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 14番 佐藤 一則

### 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

#### 記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 男女共同参画社会の実現 について	我が国においては、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取組が、国際社会における取組とともに連動しつつ、着実に進められてきたが、なお一層の努力が必要とされている。一方、少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化等我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を二十一世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付け、社会のあらゆる分野において、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の推進を図っていくことが重要である。ここに、男女共同参画社会の形成についての基本理念を明らかにしてその方向を示し、将来に向かって、国、地方公共団体及び国民の男女共同参画社会に関する取組を総合的かつ計画的に推進するため、平成11年6月23日男女共同参画社会基本法が公布・施行されました。新型コロナウイルス感染症の拡大は、各国の弱いところを露わにしました。コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題として雇用情勢の悪化、ひとり親世帯の窮状、学校の休校等による影響、DV(ドメスティック・バイオレンス)相談件数の増加、女性の自殺者の増加があることから、以下について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(1)市役所職員の構成について
	① 直近5年間の採用者数と男女比について
	② 直近5年間の職員数と男女比の推移について
	③ 直近5年間の課長職以上の数と男女比の推移について
	(2)市内小学校、中学校、義務教育学校教員の構成について
	① 直近5年間の教員数と男女比の推移について
	② 直近5年間の教頭、校長の数と男女比の推移について
	(3)直近5年間の農業委員の数と男女比の推移について
	(4)直近5年間の防災士の数と男女比の推移について
	(5)直近5年間の審議会等の委員に占める女性委員の割合の推移に
	ついて
	(6)本市のDV(ドメステック・バイオレンス)・ひとり親の状況に
	ついて
	① DVに関する相談件数のコロナ禍前後の推移について
	② ひとり親世帯の生活に関する相談件数のコロナ禍前後の
	推移について

受付番号	令和 4年 5月 16日
第2号	午前 12時 0分受付 午後

令和4年5月16日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 26番 金子哲也

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 西那須野のぽっぽ通り について	<p>大正から昭和の時代にかけて、長年にわたり西那須野駅から大田原、黒羽を通り那須小川駅まで東野鉄道が通っていました。鉄道は廃線になりましたが、地域にとっては大きな近代の歴史遺産となりぽっぽ通りとして、立派な散策道として残されました。しかし年月もたった今、植栽も雑然となり、道や周りも苔むしたり、傷んできています。</p> <p>また、この通りのすぐ近くには大山元師の墓所や別邸があり、更に、乃木大将の別邸や静沼、そして乃木神社の参道をまたいでいるという自然環境と観光資源に恵まれています。</p> <p>この恵まれた環境のぽっぽ通りを、西那須野地域の観光の目玉としてはいかがでしょうか。そこで、ぽっぽ通りに沿って、3kmにわたり沿道に薔薇を植えて、薔薇の道にしたら、近隣からも大勢の観光客が訪れることは間違いないと思われます。桜並木や桃の並木も、とてもきれいですが、花の時期が短いので、春と秋と長期間にわたる薔薇の花は、3kmに及ぶ薔薇に囲まれた散策道となって、他に例を見ない観光地になること間違いないと思われます。</p> <p>西那須野には新規事業が何一つなかつただけに、合併後20年</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	<p>の目玉の大事業として再整備すべきと考えますが見解を伺います。</p>
<p>2. スケートボード場について</p>	<p>スケートボードはオリンピックで日本が大活躍したことで、若者の間で、大変人気のあるスポーツとなりました。しかし、スピードのあるスポーツであり、大きな音や周囲の人が危険といった理由からなかなか許可してくれる場所がありません。</p> <p>そこで、合併以来スポーツ施設をつくらなかった西那須野地区にスケートボード場をつくる事が出来ないか伺います。</p>
<p>3. 要保護児童のためのグループホームについて</p>	<p>近年、何らかの理由で、親元から引き離さざるを得ない、要保護の児童が増加しつつあります。近隣では、喜連川の養徳園が、児童相談所からの依頼で大勢の子どもを預かって育てています。</p> <p>養徳園では、子どもの環境向上のため5～6人ずつを喜連川に5カ所、氏家に2ヶ所のグループホームで家庭環境に近い形で育てています。</p> <p>しかし、県北にはグループホームが1つもないことから、那須塩原市にも、2カ所くらいの空き家を借りてグループホームを整備すべきと考えますが市の見解を伺います。</p>



受付番号	令和 4年 5月 16日
第 1号	午前 11時 25分受付 午後

令和 4年 5月 16日

那須塩原市議会議長 様

議席番号 7番

森本 彰伸

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年那須塩原市議会6月定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

### 記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. ロシアの軍事侵攻をうけるウクライナへの支援について	<p>2月24日のロシアによるウクライナへの軍事侵攻からすでに3か月がたちました。このロシアの暴挙に対しては、当議会でも令和4年3月7日「ロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議」を可決し、その決議文の中で、国に対してウクライナ難民の受け入れの要望も行っています。本市としても市内4ヶ所に募金箱を設置し、ロシアからの侵略に苦しむウクライナの人々への支援の姿勢を示していることを承知しています。全国の自治体のなかでは、ウクライナからの避難民の受け入れを表明し、謂われない理不尽な暴力に苦しむ人々の命を守り、少しでも平穏な日常を送っていただけるように支援を行っているところも増えていきます。今後更に厳しい状態が続くことが予想されているウクライナへの支援、そして避難民を受け入れ生活の支援を行っていく事を想定し、以下のことについてお伺いします。</p> <p>(1) 支援金についてお伺いします。</p> <p>① 4ヶ所の募金箱の寄附状況についてお伺いします。</p> <p>② ウクライナ支援にふるさと納税の活用の考えについてお伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	③ 市内の民間のウクライナへの支援活動を認知している
	か、また連携についてどう考えるかお伺いします。
	(2) 避難民の受け入れの考えについてお伺いします。
	① 避難民を受け入れたときの国から受けられる援助につい
	てお伺いします。
	② 相談窓口についてお伺いします。
	③ 受け入れた避難民への経済支援についてお伺いします。
	④ 市営住宅の活用についてお伺いします。
	⑤ 市内のホテル旅館との連携についてお伺いします。
	⑥ 医療・介護サービスを必要とする方への支援についてお
	伺いします。
	⑦ 日本語支援についてお伺いします。
	⑧ 就労支援についてお伺いします。
	⑨ 子供たちへの就学支援についてお伺いします。
	(3) ウクライナ支援において、ダイバーシティを推進し、
	サステイナブルな社会を目指す本市としての責任について、
	考えをお伺いします。

受付番号	令和 4年 5月 17日
第8号	午前 5時 15分受付 午後

令和 4年 5月 17日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 4番 鈴木秀信

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 認知症施策と支え合う地域づくりの推進について	<p>公明党は今年1月から2月にかけて国民生活総点検を行い、子育て世代、高齢者、中小規模事業者を対象に全国でアンケート調査を実施しました。私たち公明クラブ4名もこの調査に携わった訳ですが、この結果を踏まえた支援の拡充に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>「高齢者支援拡充アンケート」で、困り事・心配なことのトップは「自分や家族が認知症になったとき」で64%でした。また、困った時、助けてくれる人は誰ですかとの問いに、配偶者や同居の家族と回答された方が大多数でした。現在、認知症が家庭内だけの問題ではなく社会的な問題として捉え、考えられています。認知症の人とそのご家族が安心して生活を送ることができるよう、支援体制の拡充（支え合う地域づくりを含む）が必要なことから、以下のことについて伺います。</p> <p>(1) 認知症の人への支援体制の整備について</p> <p>① 地域包括支援センターに認知症支援推進員を配置し総合的な相談窓口としての体制を強化したとあるが、その相談件数と内容について</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	② 認知症地域支援推進員の整備状況について。
	③ チームオレンジコーディネーターの養成状況について
	(2) 地域見守り支え合い体制の整備について
	① 地域住民助け合い事業について
	ア 見守り活動実施自治会数の状況について
	イ 協議体の新規立ち上げ数と活動状況について
	ウ 地域支え合い推進員の活動について
	② 高齢者台帳の整備について
	ア 整備状況と活用の実態について
	イ 台帳の更新について
2. 複数の世帯で同一住所になっている問題の対応について	<p>市民相談の中で、近隣3件が同一住所になっているため、宅配の誤配が最近多くなり、困っているとの相談を受けました。ネットで調べてみると全国的にも同じようなトラブルが起こっている事が分かりました。</p>
	<p>市民の安全・安心な生活を守る上で大事な問題であると考えることから以下のことについて伺います。</p>
	(1) 本市における複数の世帯が同一住所の件数と住所変更の相談の有無について
	(2) 本市として、この問題についてどのように認識しているか。
3. エコスクール・プラス事業の効果について	<p>学校施設の老朽化がピークを迎える中、教育環境の向上と共に学校施設を教材として活用し児童生徒の環境教育を行う「エコスクール事業」が行われてきています。本市においても平成30年に</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	埼玉小学校、黒磯中学校、そして本年度には箒根学園が参加しています。
	「脱炭素社会」を図る本市において、「エコスクール・プラス事業」への参加は非常に意義があると考えことから、以下のことについて伺います。
	(1) エコスクールを実施した学校での「省エネ効果」及び「教育効果」の状況について
	(2) 未実施の学校への今後の方針について

受付番号	令和 4年 5月16日
第5号	午前 3時 07分受付 午後

令和 4年 5月16日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 24番 山本はるひ

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 「市民と市政をつなぐ広聴 について	<p>市民との協働のまちづくりを進めるためには、市民ニーズを施策や事業に反映させることが大切です。広報機能とともに広聴機能の強化が重要になっていくと思うことから質問するものです。</p> <p>(1) タウンミーティング(みちたろう TO わくわくトーク)は「那須塩原市の未来のために」をテーマに、渡辺市長が団体や地域の方々と直接意見交換を行っています。どのような方々と意見交換をしてきたか、どのような意見が出てきたか伺います。さらに、市政運営に参考になったこと、施策や事業に反映できたことについて伺います。</p> <p>(2) 市は、合併以来「市政懇談会」を開催しています。今年度もホームページに『市民の意見や要望を聞き取り、開かれた市政運営を行うため、市政懇談会を開催します。皆さんの声を聞かせてください。』とお知らせが載っています。議員はオブザーバーで参加していますが、自治会長の皆さんがそれぞれ要望しているようにみえます。今年度以降も同じようなやり方で開催していこうと考えているのか伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
<p>2. 食材費高騰の中での学校給食について</p>	<p>暮らしに身近な食料品や油脂類などの値上げが続く中で、学校給食に大きな影響が出てきています。原油の高騰に円安も重なり、さらに状況が厳しくなる可能性もあります。また、全国各地から給食費の値上げを考えているというニュースも聞こえてきます。</p> <p>市内の小中義務教育学校では、栄養のバランスを維持しながら、予算内に収まるように献立の工夫をしていると思いますが、それも限界になってきているのではないのでしょうか。今までのように給食を提供できるのか心配になり質問するものです。</p> <p>(1) 食材費や光熱費などの高騰によって学校給食にどのような影響が出ているか伺います。</p> <p>(2) 学校給食の食材について、何をどこから購入しているのかまた、栃木県産と那須塩原市産の農産物使用について伺います。</p> <p>(3) 昨年度、学校給食実施基準（摂取基準）の中で栄養量の基準を満たしていないケースはあったか伺います。</p> <p>(4) 主食について米飯週3回、パン週2回としている理由を伺います。</p> <p>(5) 給食費は今のままで質を下げずに献立を立てられるのか、何か対策を立てないと給食の質の低下にもつながりかねないと心配しています。対策を伺います。</p>

受付番号	令和 4年 5月16日
第6号	午前 6時 20分受付 午後

令和 4年 5月 16日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 12番 中里康寛

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 建設発生土の処理について	<p>道路、橋梁、上下水道の新設や維持、宅地や産業団地造成などのインフラ整備や開発行為は、住民の生活環境の維持・向上のため必要不可欠であります。公共及び民間工事に伴い発生した土砂（建設発生土）は、自らの工事内や他の建設工事、または建設工事以外の用途において有効利用されることが望ましいが、一部の建設発生土については利用先が見つからず、他の受入地に搬入されております。</p> <p>受入地の多くは森林法や砂防法などの法令により、土地の形質変更について規制が行われているが、一部の適切な管理がされていない受入地においては、無許可あるいは許可条件に違反した行為が行われ、崩落に至る事案も全国で発生しております。</p> <p>国などが行う公共事業では指定処分がされているものの、一部の公共及び民間工事においては、受注者に残土処分が委ねられており、このような建設残土が主に大都市周辺の山間部を中心に問題になっております。</p> <p>本市発注の工事で発生する建設発生土は、毎年約36,000m<sup>3</sup>ありますが、この残土処分の問題について、現在どのように</p>



質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	進捗しているのかお伺い致します。
2. 地域新電力事業について	地域体新電力は、自治体と事業者が合同出資して電力会社を立
	ち上げ、地域の再生可能エネルギー活用を中心に電力を調達、地
	域に供給し、その利益を地域の課題解決に還元しエネルギーの地
	産地消を目的としたものです。日本政府は、2030年時点での
	電源構成として、再生可能エネルギーによる発電割合を36%～
	38%とする目標を掲げております。エネルギー政策基本法では、
	国の責務のほか、地方公共団体の責務も第6条で定めており、国
	の施策に準じてエネルギー施策を定めるべきとされております。
	このような中で、ゼロカーボンシティを目指す本市は、地域の
	再生可能エネルギーを活用するとともに、地域外に流出している
	エネルギー代金の地域内循環、また収益を活用した地域への貢献
	を目的として地域新電力会社「那須野ヶ原みらい電力株式会社」
	を設立しました。
	地域新電力を抱える自治体は、2021年7月までに全国に約
	74の事業体があります。SDGsの観点から見ても理にかなっ
	ており、クリーンで幸福な地域社会が目に見える一方で、住民訴
	訟になるケースや経営難に陥っている自治体もあります。
	単に地域新電力を立ち上げて終わりではなく、持続可能な事業
	として、また地域住民のための新電力を目指すことから以下の点
	についてお伺い致します。
	(1) 「那須野ヶ原みらい電力株式会社」の運営体制など、主な概
	要についてお伺い致します。
	(2) 電源の調達先、電力の供給先についてお伺い致します。

受付番号	令和 4年 5月17日
第7号	午前 1時 48分受付 午後

令和 4 年 5 月 17 日

那須塩原市議会議長 松 田 寛 人 様

議席番号 6 番 田村 正宏

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 新型コロナウイルス感染症の長期化、ならびにウクライナ危機による物価高騰等に対応した今後の生活者や事業者支援について	4月26日に「物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援」を柱の一つとする「コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策」が閣議決定されました。しかし、ウクライナ情勢をめぐる先行きの不確実性は高く、今後更なる物価の高騰も懸念される状況を踏まえ以下について伺います。
	(1) 緊急小口資金等の特例貸付の償還免除要件の周知徹底・相談支援につなげるための体制整備について
	(2) 真に生活に困っている方々への支援措置の強化について
	(3) 市内の子ども食堂等に対する支援について
	(4) 学校給食等の負担軽減について
	(5) 生活者・事業者に対する電気・ガス料金を含む公共料金の負担軽減について
	(6) 長期間にわたり生活にお困りの方への伴走型支援と生活保護の弾力運用について
	(7) 孤独・孤立対策や困窮者支援に取り組むNPO等への支援や生活困窮者支援体制を構築するためのプラットフォーム整備について



質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 本市の債権管理について	<p data-bbox="655 241 1489 510">本市では、令和3年4月1日に債権管理条例及び債権管理条例施行規則が施行されたことに伴い、各課においては、詳細な手続等を規定した債権管理マニュアルに沿って、事務処理を適正に行うことにより、収入未済額の圧縮を行えるようになりました。</p> <p data-bbox="655 544 1489 656">今後も収納率の向上及び適正な債権管理に努めていくことは、とても重要であることからお伺いいたします。</p> <p data-bbox="655 689 1489 1115"> (1) 条例制定の効果についてお伺いいたします。  (2) 個別のマニュアルの策定状況についてお伺いいたします。  (3) 債権管理台帳の整備状況についてお伺いいたします。  (4) 現状での課題についてお伺いいたします。  (5) 今後も収納率の向上及び適正な債権管理とするためにどのように取り組んでいくのかお伺いいたします。 </p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
<p>3. 民生委員・児童委員のなり手不足について</p>	<p>民生委員は、民生委員法に規定された非常勤の地方公務員であり、厚生労働大臣から委嘱され、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うことで、社会福祉の増進に努めるとされています。また、児童福祉法により児童委員を兼務しています。平成6年には、児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員が設置され、子どもの見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事等に関する相談対応も応じるなど大変重要な役割を担っております。近年、地域のつながりが希薄化し、ひきこもりや児童虐待など課題が深刻化しており、民生委員の活動が複雑化しているなかで、民生委員が活動しやすい環境整備が求められていることから以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 民生委員・児童委員や主任児童委員の欠員状況・男女比など、本市の現状及びその所見についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 欠員が生じてしまう理由についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 現在の民生委員・児童委員、主任児童委員の推薦の方法についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 民生委員の選任について、地域ごとに選任する人数は決められているのか、また充足されているのかお伺いいたします。</p> <p>(5) 年間を通して研修等が行われておりますが、ICTを活用した研修等を導入していくことは考えられないかお伺いいたします。</p> <p>(6) 民生委員・児童委員や主任児童委員の活動においてICT化を進める考えはあるのかお伺いいたします。</p> <p>(7) 報酬については、自治体の裁量で決められると思いますが、改善する考えはあるかお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
4. 要介護認定について	<p data-bbox="651 241 1485 510">要介護認定とは、介護保険制度において、被保険者が介護を要する状態であることを保険者（市）が認定するものであり、要介護認定を受けると、その区分によつての介護保険サービスを受けることが出来るようになります。</p> <p data-bbox="651 544 1485 891">本市においても、後期高齢者の増加に伴い、要介護認定の申請及び認定者数の増加が見込まれているなか、保険者である市が、その対応にできる限り早く対応していくことは、介護を受ける、介護をする方々、双方への支援に繋がるとても重要な業務であることから、以下の点についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 925 1485 1037">(1) 要介護認定の申請から結果が申請者に届くまでの期間についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1070 1485 1193">(2) 認定調査員と認定審査会の担当職員数をお伺いいたします。また、その人数が適正かお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1227 1485 1350">(3) 認定調査員や事務職員などの負担軽減が課題となっておりが本市の現状についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1384 1485 1417">(4) 要介護認定の I C T 化についてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="651 1451 1485 1574">(5) 要介護認定の課題についてお伺いいたします。またその解決等についての見解もお伺いいたします。</p>

受付番号	令和4年 5月20日
第12号	午前 10時 35分受付 午後

令和 4年 5月20日

那須塩原市議会議長 様

議席番号 8番 益子 丈弘

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

### 記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 ONSEN・ガストロノミーウォーキングの展開について	<p>自然に恵まれ歴史を強く感じられる本市は多くの人々を惹きつける魅力にあふれています。市内外の方々が独自の計画を立て、本市各所を巡る旅等、スタイルもそれぞれです。その土地を自ら歩き、その土地ならではの食を味わい、歴史と文化にふれる旅であるガストロノミーツーリズムは本市にうってつけと言え、本市では板室、塩原の両温泉を活用した ONSEN・ガストロノミーウォーキングが実施されました。さらなる本市の地域活性化や地域経済の発展、そして近隣市町と連携した広域的な魅力づくりの確立を願うことから以下についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 本市で実施された ONSEN・ガストロノミーウォーキングの成果と課題についてお伺いいたします。</p> <p>(2) ONSEN・ガストロノミーウォーキングの本市への波及効果についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 地域経済との連携についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 近隣市町との連携した取組は考えられないかお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(5) ONSEN・ガストロノミーウォーキングの今後の展開について
	お伺いいたします。
2 本市の持続可能な農業を目標とするために	世界的規模で持続可能な社会の構築が望まれています。それは農
	業分野においても最重要であり、多くの方々が鋭意、取組をすす
	めています。持続的に農業を営み安定した食料の生産供給を行う
	ことが農業者の矜持であり役割でもあります。令和2年度の、わ
	が国の食料自給率はカロリーベースで37%と依然として充分なも
	のとは言えません。非常時に自国で賄うことが重要で、これまで
	のように海外に依存した供給体制は多くの課題があり今回のロシ
	アによるウクライナ侵攻や肥料原料の高騰など、改めて自国内の
	農業の課題を浮き彫りにしました。農政は国や県などの方針や政
	策などの関わりも強く、本市だけでは対応が難しいことは承知し
	ておりますが、本市が持続可能なまちづくりを描いていくために
	は避けて通れない課題であり、平時より非常時を想定し、課題の
	研究、共有が必要と考えることから以下についてお伺いいたしま
	す。
	(1) 本市の農業の現状と課題についてお伺いいたします。
	①人材面についてお伺いいたします。
	②農地についてお伺いいたします。
	③経営面についてお伺いいたします。
	(2) 本市の農政の所見についてお伺いいたします。
	(3) 関係団体との連携についてお伺いいたします。
	(4) 本市の農業への支援についてお伺いいたします。
	(5) 本市の農業の目指す姿をお伺いいたします。



受付番号	令和 4年 5月18日
第4号	午前 3時 17分受付 午後

令和 4年 5月 18日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 3 番 林美幸

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市民サービス向上に向けた行政改革について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、新しい生活様式へと急速に変化をしている日々、各場面の生活様式の変化も改革が求められています。年間を通して窓口業務の混雑状況は、時期や時間帯により異なり、また手続きの内容によって対応する窓口も異なることから、手続きが煩雑になる状況を確認しています。本市の令和4年度市政運営方針の主要事業、情報ネットワーク強靱化システム再構築事業により、デジタル技術の活用によって、行財政運営の効率化と市民サービスの向上を進めるなかで、アフターコロナに対応した便利な社会の実現に向けた市民サービスの向上として以下について伺います。</p> <p>(1) オンライン申請（書かない窓口）の導入について</p>
2. ゴミの減量と地球環境の保全について	<p>CO<sub>2</sub>削減の高まりは、地球環境の劇的な変化（地球温暖化）に起因しており、将来的に様々なリスクが懸念されるなか、本市においては、2019年12月に、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>排出量を50年までに実質ゼロにすることを県内自治体で初めて宣言し、市内エネルギーの自給を目指し、先日、地域新電力会社</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	「那須野ヶ原みらい電力株式会社」を設立されました。
	ベース電力となる那須塩原クリーンセンターの熱源は、私達の
	日常生活や経済活動で排出されるゴミであり、私達の生活に直結
	するゴミと地球環境の保全と本市の考え方について伺います。
	(1) ゴミの減量化・食品ロスをはじめとする発生抑制について
	(2) ゴミの減量への意識啓発について
	(3) ゴミ減量推進員の役割と責務について
3. こどもの支援について	国は、常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取
	組・政策をわが国社会の真ん中に据えて、こどもの視点で、こど
	もを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、こどもの権利を保障し、
	こどもを誰ひとり取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押し、
	その新たな司令塔として、こども家庭庁を創設し、子ども政策の
	推進が期待されるところであります。こどもを取り巻く課題は、
	複雑化しており、子どもの育ちの社会的背景や育ちを巡る環境の
	変化に対して対策を強化していく観点から、子どもを見守るまち
	那須塩原市として、地域社会、家庭、学校、行政が連携し、子ど
	もを見守り育てる現状について伺います。
	(1) 子どもの居場所について
	(2) 健全な青少年の育成について
	(3) 地域社会の教育力について
	(4) 家庭教育力の向上について

受付番号	令和 4年 5月18日
第10号	午前 3時 30分受付 午後

令和 4年 5月18日

那須塩原市議会議長 様

議席番号 15 番 星 宏子

市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。  
記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市の財政の見通し について	ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、原油や化学肥料の原材料の高騰による物価上昇は市民生活に影響を及ぼしております。原油高による現 存公共施設の維持経費増、新型コロナウイルス感染症の影響によ る観光客の減少により市税収入の減少が懸念されるなど社会情勢 が大きく変化していることから市の財政の見通しについて伺いま す。  (1) 物価上昇による財政への影響について市はどの様に考える か伺います。  (2) 今後の市の事業の優先順位を伺います。
2. 女性デジタル人材育成につ いて	本年4月、内閣府男女共同参画会議において女性デジタル人材 育成プランが策定されました。女性が育児・介護等でフルタイム の就労が出来なくなっても、IT技術を習得することにより、時間 や場所にとらわれない柔軟な働き方が出来き、時給の単価の高い デジタル分野への就労を支援するプランです。  人生100年時代を迎える中、女性が長期的に経済的自立を図る ために新たなスキルを習得する必要があります。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	デジタル分野へ女性の参入を促進するために、本市の女性デジ
	タル人材育成への取組について伺います。
	(1) 女性のデジタル人材育成の必要性について伺います。
	(2) 地域女性活躍推進交付金を利用しデジタル人材を育成する
	考えはあるか伺います。
	(3) 資格取得について補助の考えはあるか伺います。
	(4) デジタル技術取得のための支援事業など、国と連携し求職
	中の女性への情報発信をする考えはあるか伺います。
3. 带状疱疹予防接種について	子どもの頃に罹る方が多い水疱瘡（水痘）。水疱瘡は完治後もウ
	イルスが身体の中の神経節に隠れており、加齢による免疫力の低
	下や過労、ストレスが引き金となり、再発症するものが带状疱疹
	です。
	带状疱疹の原因となるウイルスは、日本人成人の90%以上の方
	の体内に潜んでおり、50歳を境に発症率は急激に上昇し、60歳代
	から80歳代でピークを迎えます。神経が損傷されることで痛みが
	残ることがあり、3か月以上痛みが続くものを带状疱疹後神経痛
	(PHN) と呼びます。このPHNは50歳以上の2割の方に症状が出
	る可能性があります。また、带状疱疹が現れる部位によって、顔
	面神経麻痺・目の障害・難聴・耳鳴り・めまいなどの重い後遺症
	が生じることもあります。
	带状疱疹の予防接種は、発症を完全に防ぐものではありません
	が、予防接種をすることで発症しても軽症で済み、後遺症の予防
	につながるとされていることから以下について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(1) 带状疱疹ワクチンの効果について市の考えを伺います。
	(2) 带状疱疹ワクチンの周知と接種の推進について伺います。
	(3) 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について市の考えを伺い
	ます。
4. がん患者への医療用補装具	令和3年9月一般質問において質問しました、がん患者への医
(ウィック) 助成について	療用補装具助成について、県や他の自治体の支援内容の情報を収
	集し助成の導入について検討していきたいとの答弁を頂きました
	ので、その後の経過について伺います。
	(1) 昨年からの検討内容について伺います
	(2) がん罹患者から医療用補装具の助成についての問い合わせ
	はあるか伺います。
	(3) 今後の助成への市の考えについて伺います。

受付番号	令和4年 5月20日
第14号	午前 3時 53分受付 午後

令和4年 5月20日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 9番 小島耕一

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 食料安全保障を見据えた食料の地産地消や飼料の地域内自給の推進について	<p>本年4月から輸入小麦の「政府売渡価格」が令和3年10月期から17.3%上がりました。昨年の4月に5%、10月に19%上昇していることから、1年間でみると1.5倍になっております。この原因は、昨年の夏にアメリカやカナダが高温乾燥で不作になったためです。</p> <p>この様な状況の中、2月24日からロシアがウクライナに軍事侵攻をはじめ、戦争が長期化の様相を呈しています。</p> <p>2020年の統計によれば、ロシアは世界3位、ウクライナは8位の小麦の生産国で、輸出量ではロシアが世界1、ウクライナが5位に位置しています。</p> <p>戦争によってウクライナ小麦の生産や輸出が減少することから、今後、小麦価格のさらなる高騰が危惧されております。ウクライナは、小麦ばかりでなく飼料用トウモロコシの世界6位の生産国で4位の輸出国でもあり、飼料価格の高騰も懸念されております。</p> <p>政府は、4月26日に原油価格・物価高騰に関する関係閣僚会議</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	を開催し、輸入小麦の高騰対策として、小麦の水田転作の拡大や
	国産米粉の利用拡大を促す施策を措置しました。
	世界的な経済発展から食料需要は増加傾向であり、食料価格も
	上昇傾向の中、今回のウクライナへの軍事侵攻のような大きな事
	件が勃発すると、輸入食料の高騰は免れない状況となっています。
	また、原油価格の上昇や新型コロナウイルスによる生産停滞の
	影響で燃油や肥料など生産資材の高騰も農業経営に悪影響を及ぼ
	しています。
	市では持続可能なまちづくりを進めており、エネルギーと食料
	の自給は持続可能なまちづくりの最も重要な課題であります。
	そこで、市では食料安全保障を見据えた食料の地産地消や飼料
	の地域内自給の推進にどの様に取り組むのかお伺いいたします。
	(1) 食料の地産地消の取組の現状について
	(2) 食料の地産地消の課題について
	(3) 食料の地産地消の今後の取組について
	(4) 飼料の地域内自給の取組の現状について
	(5) 飼料の地域内自給の課題について
	(6) 飼料の地域内自給のための今後の取組について
	(7) 自給飼料生産のための生産資材高騰対策について
2 那須塩原駅周辺まちづくり	市では平成31年3月に新庁舎建設基本計画を策定しました。その
の今後の推進について	年4月に渡辺美知太郎市長が誕生し、新庁舎は那須塩原駅周辺
	ビジョンと一体的に考える必要があることから、令和元年10月か

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	<p>ら那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議を開催し、外から見た那須塩原駅周辺のあり方を聞くとともに、那須塩原駅周辺まちづくりビジョン市民懇談会を開催し、高校生を対象としたアンケートや宇都宮大学とのオンラインワークショップを開催するなどし、令和3年3月に那須塩原駅周辺まちづくりビジョンを策定しました。</p>
	<p>令和3年度にはプロジェクト5の「新たな行政の在り方を示すまち」の施策の方向を具体的なものとするため、テーマ・コンセプトの明確化及びイメージのビジュアル化をおこなう業務を(株)北山創造研究所に委託しました。</p>
	<p>今回の委託結果をみますと「新庁舎及び駅前空間の整備」や「新庁舎周辺の道路網—インフラ環境の整備」に関するビジョンは、那須塩原駅入り口の道路を公園にするなど斬新な提案であり、様々な意見が出てくることが予想されます。</p>
	<p>そこで、市では今回の「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン委託事業」の結果を基に、今後どのように進めるのかお伺いいたします。</p>
	<p>(1) 委託結果の市民への周知について</p>
	<p>(2) 市民からの意見聴取について</p>
	<p>(3) 懇談会など検討方法について</p>
	<p>(4) 具体的計画の決定方法及び目標時期について</p>
	<p>(5) 新庁舎建設計画との関連について</p>



受付番号	令和4年 5月23日
第15号	午前 10時 36分受付 午後

令和4年5月23日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 11 番 星野健二

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 子ども医療費助成に係る現物給付の拡充について	<p>2020年全国の1年間の出生数は、84万835人で過去最少に。前年より2万4,404人減少しました。本市の出生数においても1,000人前後で推移していましたが、2015年以降は減少傾向となり2020年の国勢調査では751人になっており少子化の歯止めが掛かっていません。これまで、国は、子ども医療費助成、出産育児一時金の拡充など、少子化の克服のため様々な対策を推進してきました。本市でも子育て世帯には、出来るだけの支援を行っています。2019年には、消費税が8%から10%に引き上げる際に子育て世帯の家計負担の軽減ため、子ども医療費を15歳まで現物給付の拡充をおこないました。しかし、昨今の世界情勢による原油価格や物価の高騰、コロナウィルス感染症により、子どもから高齢者まで全国民が精神的、経済的に苦しめられています。特に、一番苦しんでいる子育て世帯に対しての支援、また、子どもを産み、育てやすい環境を整えることは重要であると思うことから以下についてお伺いいたします。</p> <p>(1)過去5年間の子ども医療費の推移についてお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(2)過去5年間の16歳～18歳までの医療費の推移をお伺いいた
	します。
	(3)18歳まで子ども医療費の現物給付の拡充を行う場合につい
	ての課題をお伺いいたします。
	(4)18歳まで子ども医療費の現物給付の拡充について本市の考
	えをお伺いいたします。
2. 小学校教科担任制について	令和3年1月の文部科学省の中央教育審議会において、「令和の
	日本型学校教育の構築を目指して」と答申されました。その中で、
	小学校高学年から、英語・理科・算数・体育で専門性の高い教員
	がクラスをまたいで受け持つ教科担任制を令和4年度から本格導
	入することが示されました。これまで日本の小学校では、学級担
	任がすべての教科の指導にあたる学級担任制がとられてきまし
	た。学級担任がすべての授業を行うことで、児童の表情や行動の
	変化を一日を通して観察することができ、また、授業時間を柔軟
	に運用することが出来るなどの利点があったと思います。一方で
	は専門外の教科への不安であったり、教材研究にかかる時間が多
	くなったりするなどの側面もあると思います。近年、小学校にお
	いても英語の授業が開始されるなど小学校の教員への負担が多く
	なっていることも問題となっています。
	小学校に教科担任制を導入することは、小学校の学級担任制から
	中学校の教科担任制への変化によるいじめや不登校の原因とされ
	る、いわゆる中1ギャップの解消や教員が指導する教科数を減ら
	すことによる教員への負担軽減など、様々な環境が改善されると
	思います。那須塩原市の学校の通う子どもたちのより良い学習環

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	境が整えられることを期待して以下についてお伺いいたします。
	(1) 教科担任制に向け、今までの取り組みについてお伺いいたします。
	(2) 学級担任制と教科担任制、それぞれメリットとデメリットをお伺いいたします。
	(3) 教科担任制導入にあたっての教員数不足についてお伺いいたします。
	(4) 今後、教科担任制をどのように進めていくのかお伺いいたします。
	(5) 教科担任制の導入について本市の所見をお伺いいたします。

受付番号	令和 4年 5月20日
第13号	午前 3時 15分受付 午後

令和 4年 5月 20日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 2番 三本木 直人

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 みどりの食料システム戦略について	我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化、地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化などの政策課題に直面しており、将来にわたって食料の安定供給を図るためには、災害や温暖化に強く、生産者の減少やポストコロナも見据えた農林水産行政を推進していく必要があります。  このような中、諸外国でも健康的な食生活や持続的な生産・消費の活発化、さらに、環境や健康に関する戦略を策定するなどの動きがみられます。  今後、このようなSDGs や環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、我が国の食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが必要とされることから、国は、令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を技術革新で実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。  これを受けて、将来につながる那須塩原市の持続可能な農業を実現するために、その姿や在り方をどのようにデザインするのか

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	が、今後重要であると考えことから、次のことについて伺いま
	す。
	(1) みどりの食料システム戦略に対する市の所感を伺います。
	(2) 化学農薬及び化学肥料の使用量の削減への取組について伺い
	ます。
	(3) 有機農業の推進について伺います。
	(4) 農林水産業のCO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロへの取組について伺いま
	す。



受付番号	令和 4年 5月23日
第18号	午前 12時 00分受付 午後

令和 4年 5月23日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 5番 室井孝幸

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 所有者不明土地について	令和元年12月の定例会議で、同じ会派の中里議員が質問されていますが、本市において所有者不明土地が益々増えていくと考えることから、以下の点についてお伺い致します。 (1)現状についてお伺い致します。 (2)所有者不明土地における本市の考えについてお伺い致します。 (3)今後の取り組みについてお伺い致します。
2. 補助便座について	屋外で未就学児が利用できるトイレが無いので何とかして欲しい、そして、洋式トイレに補助便座を設置してほしいと市民から要望がありました。トイレに付き添う保護者や園の先生方は男女両方の場合があるので多機能トイレ等に設置が望ましいと考え、ユニバーサルデザインの観点からも、今後設置や整備する考えがあるかお伺い致します。 (1) 都市公園についてお伺い致します (2) 文化会館や図書館、公民館等についてお伺い致します。 (3) 庁舎についてお伺い致します。

受付番号	令和 4年 5月 23日
第17号	午前 11時 55分受付 午後

令和 4年 5月23日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 1番 堤正明

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年6月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 安全安心のまちづくりについて	市民から多くの生活道路の要望があります。また、とちぎ国体の開催市にふさわしいまちにしていかなければなりません。市民が安全安心に暮らすまちづくりについてお聞きします。
	(1) 市道における歩道の設置状況について
	(2) 道路照明、防犯灯の設置状況について
	(3) 市道および私道の舗装状況について
	(4) ゴミステーションの設置状況について
	(5) 公共交通の拡充について
	(6) 分散型まちづくりにおける新庁舎および公民館の行政サービスについて
2. 自転車通行帯・遊歩道の設置について	「車」優先から「人」優先の道路利用についてお聞きします。
	(1) 自転車通行帯の設置状況について
	(2) 旧国道400号関谷塩原線(S354)の活用について
3. 地域の資源を活用した地域振興について	本市には、豊かな自然と温泉があります。これらを利用した地域振興についてお聞きします。
	(1) 温泉熱・地熱利用について
	(2) 塩原温泉、板室温泉の地域振興について